



2018年6月23日(土)開催

対象：4歳～小中学生 参加者数：21名

協力：神戸大学勅使河原研究室
神戸シルバーカレッジOB
図工専科OB

開催中の特別展「没後30年 小磯良平展」の会場には、小磯さんが人物を描いた絵がたくさん並んでいます。人を描くって、どんな感じ？モデルさんの姿をどんな風に捉えたら、素敵な人物像を描けるんだろう。小磯さんの絵からヒントをもらい、実際にモデルさんを前にして、イーゼルに立てた紙に人物像を描いてみよう。

オリエンテーション

まずは、みんなそれぞれの自己紹介とスタッフの紹介。本日のモデルを務めてくれる、神戸大学の学生ボランティアさんたちの紹介も。そして先生から、本日の活動内容や美術館でのお約束について、お話がありました。



小磯さんの絵からヒントをもらおう



展示室内で、小磯良平の描く人物像を見ながら、人を描くって、どういうことか、みんなで考えました。まずは絵の中のモデルさんたち、これは、いったいどんなポーズなのか、みんなで検証！小磯さんのデッサンにも、ヒントがありますね。



いよいよ！

描きましょう！

ではいよいよ、モデルさんを前にして、描いてみましょう。画用紙と画材は、それぞれ好みのものを選び、小磯良平さんも使っていた、コンテやサンギューを使って、モデルさんを描きます。

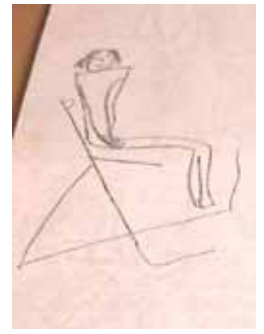


輪郭から描く子や、顔の中のパーツから描き出す子など、描き方は個性的にそれぞれ。



大きな画用紙に思い切り描くのは、最初はどきどきですね。





すてきだね!

みんなの作品を発表!



力作がずらり。それぞれが、一番気に入った絵をイーゼルに飾り、みんなでお互いの作品を鑑賞。特に工夫した点などを発表しました。

